

## 2018年(平成30年)度 近江ちいろば会の事業報告

### 1. 主な取り組み

#### ●通所介護事業所での自立支援

ぼだいじデイサービスセンター虹、デイケアの家おしどりでは理学療法士による機能訓練の導入により利用者様の残存機能の維持・向上が図れました。また、ぼだいじデイサービスセンターいこいでは、調理プログラムが軌道により自立支援ケアが奏功し、利用者様の増加に繋がりました。

#### ●地域貢献活動として、

\*独居のデイサービス利用者様を中心に「配食弁当」を開始し、食の安心安全を提供。

\*地域密着型デイサービスセンターにて「健康教室」「映画会」「音楽会」等を継続して毎月1回開催。

\*認知症デイサービスセンターの一室(「地域のわが家」)にて認知症カフェ「つどいcafé」(週1回)を開催し、毎回6~10名位の近所の方が来られています。また、パソコン教室も週1回開催し、近所の主婦がボランティアで指導して下さっています。

\*また、「コグニサイズウォーキング」と題して毎週金曜日の朝7時30分~8時30分の間、近くの希望ヶ丘までお話しやクイズをしながらウォーキングをしています。地域住民との交流を図り、閉じこもり防止、交友関係づくり、生きがいつくり役に役立っています。

\*地域の夏祭りに参加

中央区(中央デイサービスセンターしんあい)、北山台(グループホームぼだいじ・小規模多機能ぼだいじみんなの家)

\*高齢者認知症発見保護訓練(4年連続)に参加

当法人からも約20名が参加し、菩提寺区の皆様と認知症啓発活動に取り組みました。

\*ボランティア感謝会を開催

日頃からお世話になっている地域のボランティアの方々約60名と懇親を深めるとともに労いと感謝の意を表す機会となりました。

#### ●法人ブランディング力・情報発信力の強化

\*法人ホームページのリニューアルを行うとともに法人並びに各事業所の取り組みやサー

ビス提供状況などをブログにてタイムリーに情報発信しています。

- \*法人のワーク・ライフ・バランスの推進のための様々な施策が評価いただき、県内で2番目に「しが介護職員定着等推進事業者」に登録頂きました。

## ●人材育成

- \*デイサービス管理者交流会(3回)並びに職員の交換留学(2回)を実施

6ヶ所のデイサービスの管理者が事業所の強みや課題等の情報交換を行い、事業運営に役立てることができました。また、職員の交換留学では互いの事業所での取り組みや良い点を参考に自事業所に持ち帰り、水平展開が図れました。

- \*管理者研修、主任研修、非常勤研修を実施

管理者、主任として、先人に学ぶということで松下幸之助の「社員稼業」について、さらには寺田由香里氏には業務の棚卸し、ジョブクラフティングについてグループワークを主体に意見交換を行いました。また、非常勤研修では主に介護現場での心配りのスキルや報連相のポイントについて学びました。

- \*法人内研修は、昨年に引き続き甲西リハビリ病院の田中院長をお招きし、「高齢者の骨折」について(2回)、認知症について(2回)、人権・身体拘束について(2回)、感染症について(1回)、方針発表会(2回)を行い、職員のレベルアップを図りました。

- \*業務改善活動の取り組み(5月～2月)

QC手法を活用して、課題解決を図ることを目指して、今回で11年継続しています。活動成果発表会では、地域の区長、民生委員、他の居宅介護支援センターの方々など約10名にもご参加頂き、法人の取り組みについてご理解を頂く、貴重な機会となりました。

- \*対外研修発表会に参加

各職場で取り組んだ事例を発表し、職員の意欲向上、自信に繋がりました。

- ・近畿老人福祉施設研究大会　グループホームぼだいじ
- ・滋賀県老人福祉施設研究大会　ふれあいの家おしどり
- ・滋賀県福祉研究大会　小規模多機能居宅介護事業所　ぼだいじみんなの家
- ・認知症にかかる医療と介護の滋賀県大会  
　　ぼだいじデイサービスセンターいこい、中央デイサービスセンターしんあい
- ・在宅看取りセミナー　ぼだいじ訪問看護ステーション

## ●外国人雇用

2019年4月から華頂社会福祉専門学校に入学する2名の外国(フィリピン)人をアルバイトとして雇用(週28時間以内)することが決定。

## ●施設整備

- \*職員の増加に伴い、グループホームぼだいじ及び職員駐車場の拡張工事を実施しました。
- \*湖南省からの補助を頂き、グループホームぼだいじの樋、デッキの改修工事を実施しました。
- \*赤い羽根共同募金並びに中央競馬馬主社会福祉財団よりの補助を頂き、防災倉庫と福祉車両を購入することができました。

## 各事業所からの報告

### 1)法人本部

- ・法人のブランディングの一環としてホームページのリニューアルとブログの立ち上げによるタイムリーな情報発信、さらには人材確保に向けての求人パンフを作成しました。
- ・その成果として、2019年4月入職の新入職員として、大卒2名、高卒2名が内定することができました。
- ・理事会は4回(6/9、9/22、12/15、3/9)、評議員会は2回(6/27、3/28)開催。法人の事業・決算報告並びに事業・予算計画、定款、就業規則をはじめ諸規程の改定、設備投資計画等について協議頂きました。

### 2)ケアハウス「ピスガこうせい」

- ・年間の平均入居者数は49.3人。食料品等の移動販売による買い物支援や外部ボランティアによる定期的な各種教室の開催などで入居者の満足度アップも図れました。  
<教室名> 折り紙教室、囲碁将棋教室、絵手紙教室、陶芸教室、スマイルコンサート(うたの会)など
- ・また、入居者によるお盆拭きや野菜の皮むきなどのボランティア活動が定着しました。

### 3)ぼだいじデイサービスセンター虹

- ・理学療法士による機能訓練を強化し、機能訓練Ⅰの加算取得が図れました。  
また、外部コーディネーターの指導のもと選択プログラムの導入により各利用者様の満足度も向上し、利用者増につながりました。
- ・職員自らがトイレ、洗面台、お風呂の装飾を行い、環境整備が図れました。

#### 4)ぼだいじデイサービスセンターいこい

- ・調理プログラムが定着し、利用者様の自立支援に繋がっています。また、バザーを開催することでご家族や地域の方々と友好的交流が図れました。
- ・認知症ポスター発表で生活プログラムと DASK21 の関係性を発表し、職員育成が図れました。

#### 5)中央デイサービスセンターしんあい

- ・認知症の症状別に個性が発揮できる取り組み(生活レク)を継続して実施できました。また 湖南市あんしん相談員としても、若年性認知症の啓発などに取組みました。
- ・地域交流、支援活動として「男性家族の会」や若年性認知症の方へのアプローチとして「たこやきの会」や自治会行事への参加、近隣保育園の園児との芋ほりなど交流が定着してきています。

#### 9)ぼだいじ居宅介護支援センター

- ・5人による体制強化が図れ、それぞれのケースの共有化を進め、得意分野を活かしながら多様なケースに対応できる体制が整いました。

#### 10)ぼだいじホームヘルパーステーション

- ・私的サービスの広報に努め、新たなサービス向上に結び付けました。また、夜間・早朝の訪問も利用者ニーズに合わせて実施し、地域介護に寄与できました。

#### 11)グループホームぼだいじ

- ・駐車場の増設と樋・デッキの改修工事により施設整備が図れました。また、近隣地区の夏祭りに2年連続模擬店を出店し、有意義な地域交流が図れました。

#### 12)小規模多機能型居宅介護事業所ぼだいじみんなの家

- ・個別体操の見直しを行い、利用者個々の自立支援に取り組んだ結果、利用者の活動量も増加しました。また、主任を3名にし、各々が役割分担することでサービスの改善に取り組み、事業所運営の効率化がはかれました。

#### 13)ぼだいじ訪問看護ステーション

- ・職員の増員により24時間緊急訪問看護加算を再開することができ、低迷から回復基調に推移。また、医療度の高い利用者の訪問も行うことができ、医療保険の利用者数も増加しました。
- ・看取りの症例(5件程度)も行うことができました。

14)グループホームみなくちみんなの家

- ・はじめて、「あやのワイワイフェスタ」に参加し、事業所内で模擬店を行うなど、地域住民との親密な交流が図れました。

15)デイサービスセンターみなくちみんなの家

- ・目的別体操や生活動作の実践的な体操を取り入れ、自立支援の強化が継続できました。また、訪問看護と連携し、機能訓練にも取り組みました。

16)ケアプランセンターみなくちみんなの家

- ・主任ケアマネ研修も修了することができ、病院からの依頼も増えてきました。

17)デイケアの家おしどり

- ・機能訓練Ⅱの導入し、利用者も増加しました。それにより利用者数も過去最高を達成し、稼働を上げることができました。また、新たに若年性認知症の利用者様も受け入れることができました。

18)ゆめとまの家おしどり

- ・ゆめとま畑の収穫感謝祭を継続して2回開催でき収穫、調理、食事で利用者・ご家族・地域の方々と楽しい時間をお過ごし頂くことができました。

19)総合事業ぼだいじるんるんクラブ

- ・年間を通して、健脚教室、体力測定、栄養講座、認知症勉強会、口腔勉強会を実施することができました。また地域のまちづくりフェスタに利用者様の作品等を出品することができ、意欲向上に結び付けることができました。

20)総合事業ふれあいの家おしどり

- ・地域のボランティアの参加により地域ぐるみの運営が行えています。お話し、歌、散歩、折り紙、習字、手芸など多彩な行事を行うことができ、それぞれ得意なものを楽しんで頂けました。